

国民体育大会 第37回四国ブロック大会剣道競技

＜第72回国民体育大会（愛^え顔^がつなぐえひめ国体剣道競技リハーサル大会）＞

＜種別及び参加人数＞

種別	監督	選手	参加県数	参加人員
成年女子	1	3	4	16
少年男子	1	5 (補員2名可)	4	24 (補員2名増可)
少年女子	1	5 (補員2名可)	4	24 (補員2名増可)

＜参加資格＞

(1) 成年女子

次の3名をもって1チームとする。

先鋒 昭和61年4月2日以降～平成10年4月1日までに生まれた者 1名

中堅 昭和51年4月2日以降～昭和61年4月1日までに生まれた者 1名

大将 昭和51年4月1日以前に生まれた者 1名

(2) 少年男子、少年女子

ア 各県内において選出された代表者5名をもって1チームとし、平成10年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、中学生以下の参加は認めない。

*選手の年齢基準は、全種目とも4月1日を基準とする。

イ 補員2名までを認める。交代については、全国高校総体に準ずる。

(3) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認剣道指導員、公認剣道上級指導員のいずれかの資格を有する者。

＜競技上の規定及び方法＞

(1) 試合、審判規則及び審判員

ア 一般財団法人全日本剣道連盟試合、審判規則及び細則による。

イ 審判員は、主管県8名(審判長1名・試合場主任2名を含む)、他県各3名の計17名とする。

(2) 試合方法及び順位の決定

ア 試合方法

リーグ戦方式による。

イ 順位の決定は、次の順による。

(ア) 勝数 (イ) 勝者数 (ウ) 総得本数

*上位(ア)～(ウ)が同数で1位、2位が決しないときは、代表戦により決定する。

<表彰>

各種別の出場権を得たチーム・及び2位には、賞状を授与する。